

都心ビジョン策定に向けたコンセプトフロー

世界、日本にみる豊田市の現状と将来性

日本の産業・経済の牽引者としての豊田市

豊田市の製造品出荷額は全国の都市で第 1 位。2 位以下である東京都区部や大阪市、横浜市などの出荷額の 2 倍以上である。人口 41 万人にして、まさに日本の産業・経済を牽引する役割を果たしており、今後もその活力の持続・向上が期待される。

世界を代表する企業、トヨタ自動車の本社都市

世界を代表する企業の本社が立地する都市であり、その特色を活かした風格と魅力のある都市づくりが期待される。

世界へむけた情報発信の拠点としての豊田市

愛知の存在を世界に知らしめた「愛・地球博」の開催地として、高い技術と企業文化を有する企業の本社都市として世界へむけた情報発信の拠点として期待される都市である。

- 1 「豊田市の工業 平成 16 年版」より
- 2 2005 年版フォーチュン社が選ぶ「世界の企業 500 社」でトヨタ自動車は第 7 位。

中部圏における豊田市の現状と将来性

< 自立し、連携する都市、豊田市 >

自立した特色ある都市として、名古屋や周辺都市との連携しつつ中部圏の発展を牽引する都市。

< 広域的な交通、物流の拠点、豊田市 >

交通、物流の結節点として、道路・鉄道を通じて広く国内都市、世界へとつながる広域的な拠点都市。



豊田市の都心が目指すべき方向

1. 世界で最も先進的な環境・健康都市

- 既存の地形的特色や分散型の市街地構造を活かして、それぞれが分担した機能を持つ豊田市型の都市構造を形成し、トータルでの環境負荷軽減をめざす。
- 豊かな緑地帯や農地の保全、緑化推進目標と産業振興との共存を図り、緑の豊かな先進ハイテク工業都市をめざす。
- 山間・農村部では自然を活かした地産地消などによる豊田市の新たな魅力の開拓、住宅地では健康的な生活を送るため仕掛けを工夫し、健康都市の先進モデルをめざす。
- 生活の安全・安心、いつでも安心して歩くことができ、休憩がとれるような環境を整備する。

2. 世界経済を牽引し、情報発信しながら洗練された都市文化をはぐくむ都市

- 活力ある都市づくりの源泉として、多様な就業機会と就業の場を受け入れ、はぐくんでいく環境づくりを進める。
- 豊田市の強みをいかした街としてのブランド性の向上、ハイレベルな文化・教育機能の育成、良質なデザインによる街の風景の創出、新しいライフスタイルの追及など、洗練された都市文化を育む都市を実現する。
- 『都市美』を守り、創る市民組織の醸成やその支援などから市民活動が生まれ育つ環境を作る。

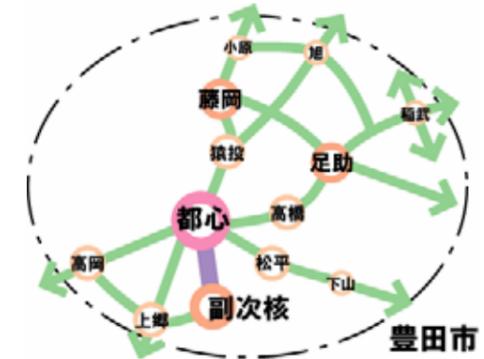
3. 新たな交通文化を創造する交通モデル都市

- 世界の最先端を歩む ITS や TDM に先進的に取り組んできた実績を活かして、過度な自動車利用を抑え、自動車と公共交通が調和した交通体系を構築し、世界に誇れる『かしこい交通社会』をめざす。
- そのために、市民・企業・行政のパートナーシップにより、誰もが安全で、安心して、円滑に移動でき、さらには、環境にやさしい世界の模範となる持続可能な交通システムを構築する。

豊田市の都心と地域核の将来都市構造

< 既存の資源を活かした拠点ネットワーク型都市の構築 >

既存の資源 豊かな自然環境や、分散立地する拠点、質の高い文化施設、整備が進められてきた都市インフラ、都心商業核、そして高い技術水準を持つ企業で働く市民などを有効に活かし、都心を中心に市内の都心核・地域核をネットワークしていく都市づくりを進める。



将来の豊田市における都心の位置づけと目標

< 先端的な都市の『顔』、『中核』としての都心づくり >
都心は、豊田市にとって、

魅力ある玄関口、顔として、
ネットワーク型都市構造の要として、
新しい都市づくりの先導的な拠点としての役割が期待される。そのために、

都心活力の源泉である

都心の昼夜間人口の増大をめざす

(都心就業人口数千~1万人増、都心居住人口増加、など)

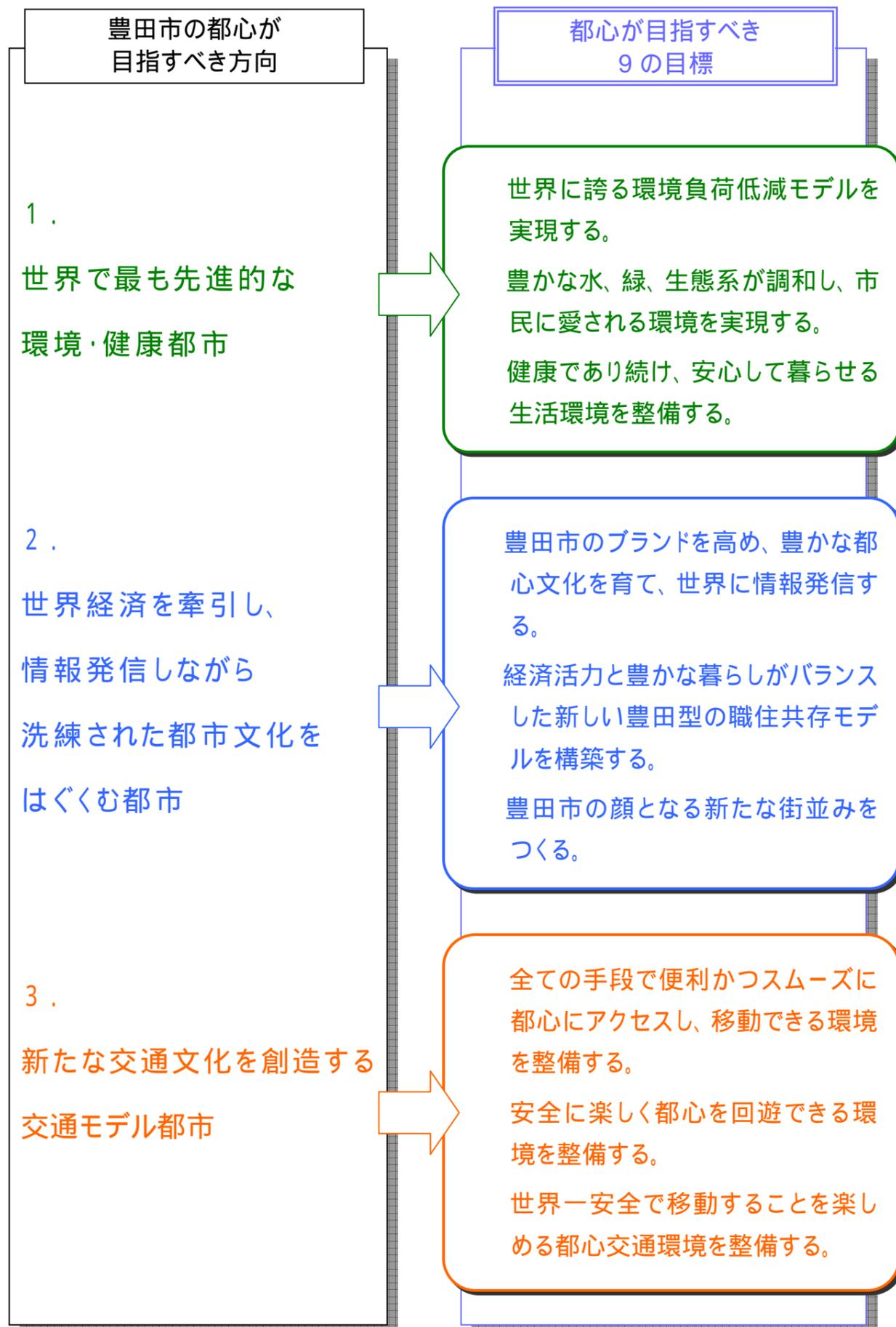
そのために都心において必要な取り組み(例)

就業環境 生活環境 の向上 (例: 事業所誘致)	豊田市型 職住近接 モデルの 構築	地上面の 歩行者空 間化と賑 わいの創 出	都心公共 交通と 広域公共 交通の 結節点	その他 様々な 取り組み ・ ・
--------------------------------------	----------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

都心の目指すべき 9 の目標へ

都心の位置づけから都心が目指すべき 9 の目標へのフロー図

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)



豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

1. 世界で最も先進的な環境都市

世界に誇る環境負荷低減モデルを実現する。

アクションプラン

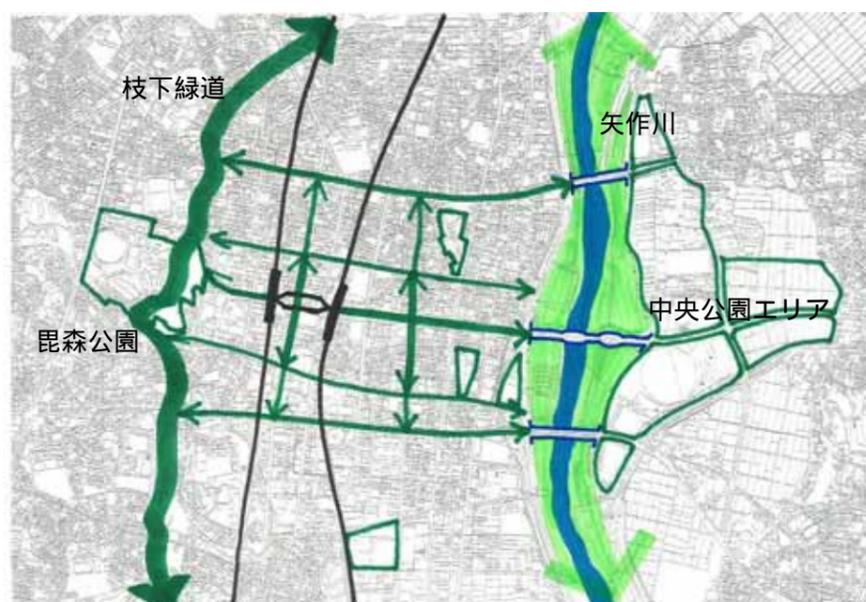
民:市民/事:事業者/行:行政が主体となる。

グリーンネックレス創造プログラムの実施

- 分散型拠点間の緑地や農地の保全・育成や、都心部遊休地の『エコスポット』化(小公園化)を行い、それらが連続するグリーンネックレスをつくることによりヒートアイランド化を抑制する。行
- 土地利用に関する規制やガイドライン誘導などを行い、住宅地や工場・物流施設などの無秩序な拡散を防止する。同時に、土地利用規制により崖線緑地の保全・整備を行う。民/事/行
- 高い緑被率をめざしたユニークな目標を定める(例:敷地の緑化率 %、高木1本を緑化率 %に換算、など)。行
- 高い緑被率の達成や風力・太陽光発電などの自然エネルギー利用に対して、補助金や税制優遇などのインセンティブを与える。民/事/行

その他のアクションプラン

- 低公害車への補助金支出やエコドライブの推奨など、環境行動へのインセンティブを与える。民/事/行
- 過度の自動車利用を是正し、CO₂削減に寄与するために、公共交通の利便性向上、交通手段転換、交通需要の効率化などTDM(交通需要マネジメント)の取り組みを推進する。行
- カーシェアリングを積極的に導入し、都心の自動車流入を抑制する。行
- 公共交通網を充実させ、自動車交通量の低減を推進する。民/事/行



都心のグリーンネックレス イメージ図

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

1. 世界で最も先進的な環境都市

豊かな緑、水、生態系が調和し、市民に愛される環境を実現する。

アクションプラン

『水のみち』ネットワークの整備

- 歩行者空間には、地下水などを利用した水路を設け、水音を聞きながら歩くことができる散歩道を整備する。行
- 停車場線を中心として、街路樹のある歩道をつくり、緑あふれる歩行者空間を整備する。同時に、緑の創造により、ブランド性の付与による周辺の土地の付加価値上昇を誘導する。行
- 透水性舗装を積極的に採用し、大雨時の地表水を低減させることで、地下水脈がネットワークした、水循環の強固な、水害に強いまちを実現する。行

市民に愛される矢作川リバーフロントの整備

- 矢作川リバーフロントを含む中央公園について、市民参加を前提とした国際ランドスケープデザインコンペを開催し、世界各国から優れた案を募る。行
- 水と緑にあふれ、思わず市民が歩きたくなるような、市民にもっとも求められる案を選出し、豊田市と市民にとって新たな財産となる空間を整備する。行
- 中央公園と矢作川リバーフロントの清掃活動やレクリエーション活動を行うボランティア団体を、市民が運営する。民

その他のアクションプラン

- 現在ある公園・緑地・河川空間などを保全、ネットワーク化するとともに、生態系や希少生物の保護に必要な再整備を行う。行
- 希少生物を保護・観察する団体やNPOを市民が継続または設立し、行政もその活動をサポートする。民/行



中央公園イメージパース

(出典：豊田市中心市街地におけるランドデザインの提言(H17/10：豊田商工会議所))

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

1. 世界で最も先進的な環境都市

健康であり続け、安心して暮らせる生活環境を整備する。

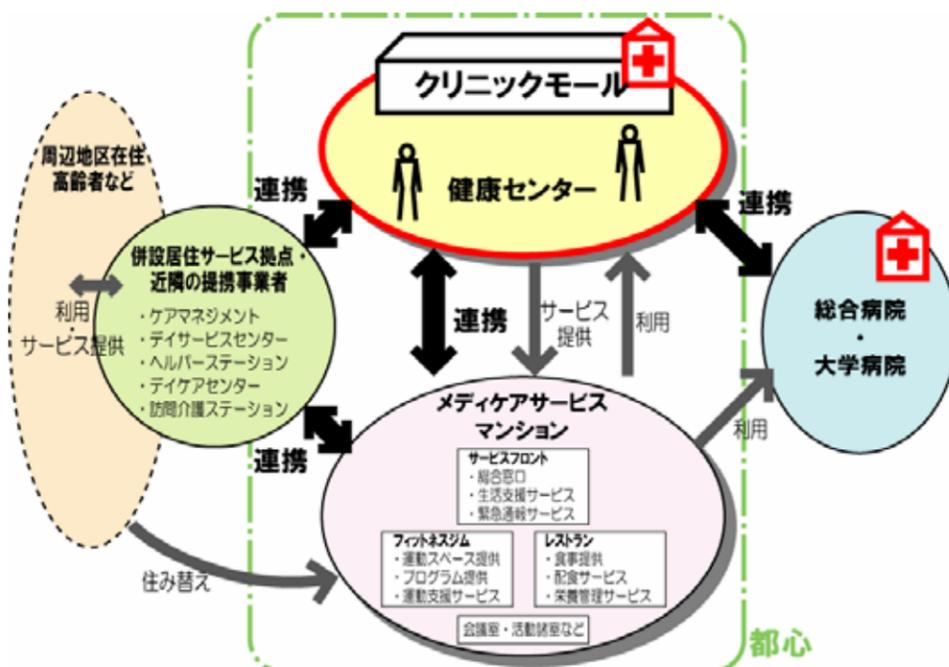
アクションプラン

『歩きたくなる環境づくり』プログラムの実施

- 歩道の拡幅や並木道、停車場線のトランジットモール化などの整備を行うとともに、良好な歩行者環境を守るため地域が日常的な清掃活動などを行う。行/民
- 健康産業企業とタイアップし、万歩計を利用した健康エコポイントプログラムを実施する。参加者には歩数に応じたポイントを進呈し、市民が積極的に歩きたくなるためのインセンティブとする。民/事/行
- 都心には、憩いの場としてのカフェを兼ねた健康エコポイントセンターを整備し、市民が歩いて集う場を提供する。行

医療・福祉の総合的な都心支援プログラムの実施

- 浄水駅前に移転する総合病院に代わる日常の医療を担当するクリニックモールを、都心に誘致する。事
- いつでも気軽に利用・相談でき、かつ市民の日頃の集いの場ともなる民営の健康センターを設立する。事/行
- メディケアサービスマンションなど、高齢者や障害者を対象にした建物に対して、補助金などのインセンティブを与えて建設を促進するとともにクリニックモールとの連携を強化する。事/行
- 他のサービス拠点や、総合病院とも連携し、さらに充実したバックアップ体制を整える。事/行



都心医療・福祉ネットワーク ダイアグラム

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

2. 世界経済を牽引し情報発信しながら洗練された都市文化をはぐくむ都市

豊田市のブランド力を高め、豊かな都心文化を育て、世界に情報発信する。

アクションプラン

『都心戦略会議』によるブランディングと情報発信

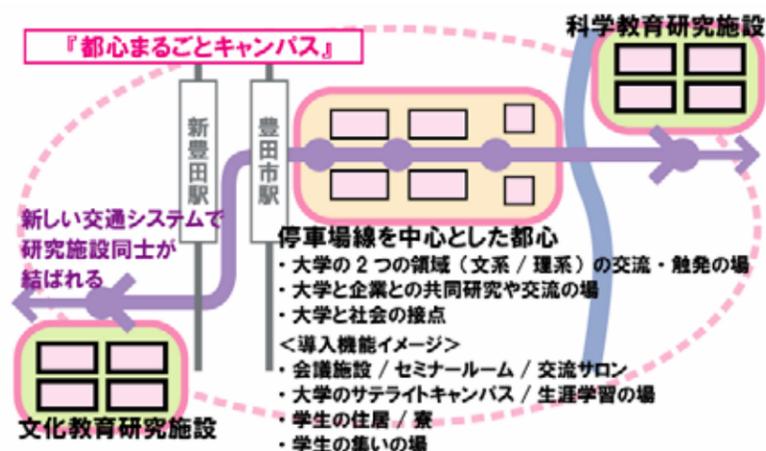
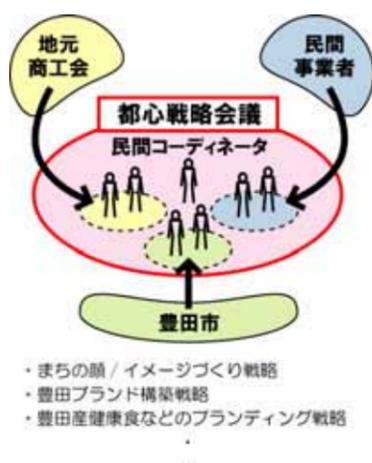
- 自動車産業関連企業やハイテク産業企業など多様な分野の企業を都心に誘致し、その波及効果による周辺商業エリアの活性化を促す。事/行
- 民間コーディネータを中心とした『都心戦略会議』を設立し、都心の業務機能や商業活性化方策、新たな豊田ブランド構築のための手法、地元の農作物を積極的に取り入れた豊田産健康食などのブランディング戦略の方策などをトータルに協議し、実践していく。民/事/行

『都心まるごとキャンパス構想』の実現

- 豊田市駅周辺に大学のサテライトキャンパスを誘致し、民間主導により開校・運営する。生涯学習を含む多種多様なプログラムを提供し、市民が参画し、市民が育てる大学として育成する。国内外から研究者、専門家を招聘し、大学の機能を段階的に充実させる。事/行
- 講師には、自動車産業をはじめとする民間企業からの派遣講師も招き、実践的なプログラムを実施する。民/事/行
- 大学の機能拡張とあわせて、科学系・文科系の核となるキャンパスを都心の東西に設置し、新しい公共交通で結ぶ。中心部には、サテライトキャンパスをはじめとする会議・協働・交流の場を確保し、二つの系の学生・研究者の相互触発、産学による共同研究や相互交流を促す。都心全体がまるごとキャンパスになったようなまちをつくる。民/事/行
- 学生の住居を中心に誘導して、若い世代の都心居住人口・交流人口の増加を図り、地域の活性化を促進する。事/行

その他のアクションプラン

- 行政が場所を提供し、NPOや大学と協働する(仮)『まちづくりセンター』を設立する。まちづくりに関する講演などを通じて、市民のまちづくりに対する知識と気運を高めていく。民/事/行
- 日本の次世代リーダーを養成するための高水準な小学校～高等教育機関を、行政と民間事業者の共同事業として開校し、特に若い夫婦が都心に住みたくなるインセンティブとする。事/行
- 諸外国からやってきた住民同士が立ち寄れる国際交流サロンを開設し、より活発な住民交流を促す。民/事/行



豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

2. 世界経済を牽引し情報発信しながら洗練された都市文化をはぐくむ都市

経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい豊田市型の職住共存モデルを構築する。

アクションプラン

多様な職住のあり方を示す住宅プロジェクトの実施

- 業務機能を積極的に都心に誘致する。また、SOHO や在宅ワーキングなど、新しい就業スタイルを奨励し、職住融合のために必要な共有スペースや住戸タイプなど、ユニークな空間を整備する。事/行
- 単身者から高齢者までの多様な生活スタイルを想定した、さまざまな住戸タイプの提供を奨励・誘導する。事/行
- 『エコスポット』(都心部遊休地を小公園化したもの)と一体となった住宅開発の誘導など、パイロットモデルとなる住宅プロジェクトを重点的に推進する。事/行
- 生涯学習を含む多種多様なプログラムを提供する大学サテライトキャンパス、メディケアサービスマンションなどを都心に誘致し、若い家族層から高齢者までが住みたくなる都心をつくる。(再掲) 事/行

その他のアクションプラン

- 都心とトヨタ自動車本社地区をスムーズに結ぶ公共交通機関の充実を図る。行
- 低・未利用地で住宅地としての有効な利用を促進するために、敷地の共同化や高度利用を促す。事/行
- 現存する公園・緑地を保全するだけでなく、併せて遊休地の新規整備や再整備を行うことで、より魅力的な空間をつくり、そこに面する土地の付加価値を上昇させ、民間による新規住宅開発を促進する。事/行
- カーシェアリングを推進し、自動車保有に関する負担を軽減する。行



都心居住住宅イメージ

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

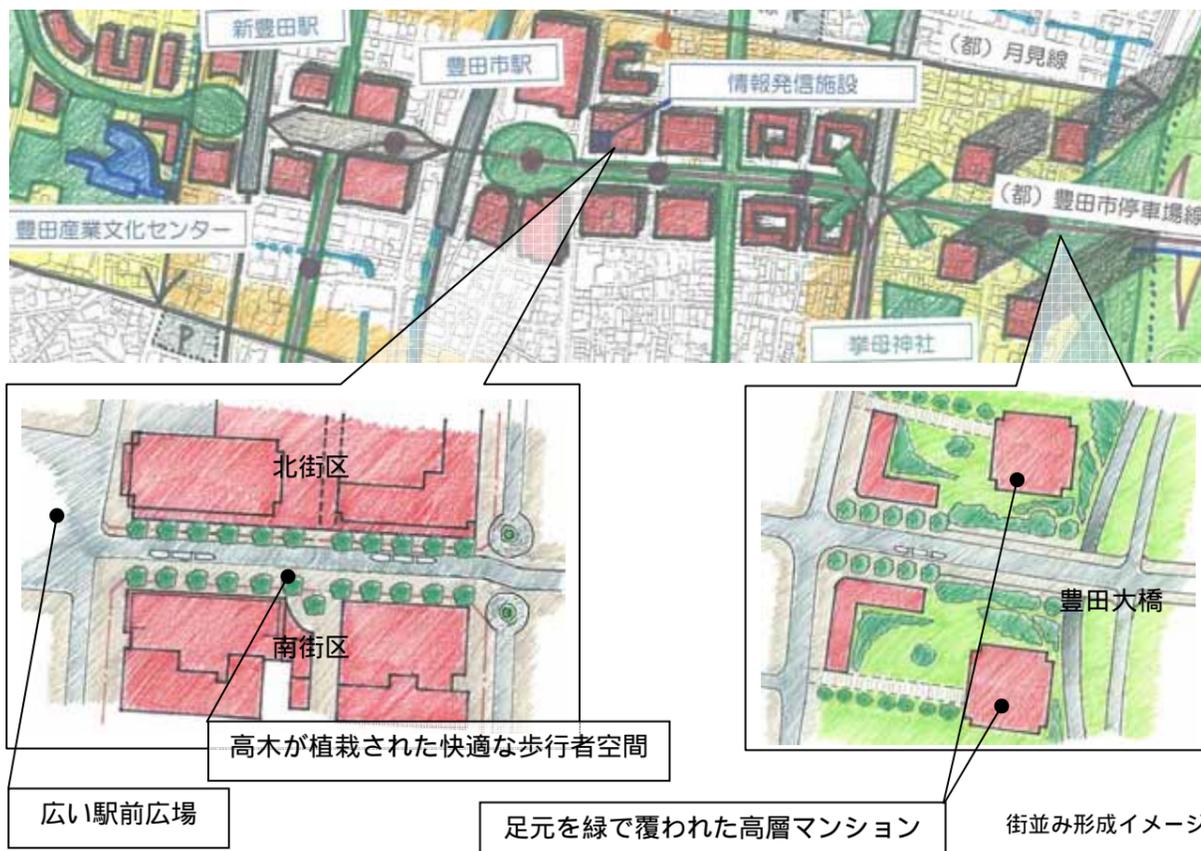
2. 世界経済を牽引し情報発信しながら洗練された都市文化をはぐくむ都市

豊田市の顔となる新たな街並みをつくる。

アクションプラン

都心軸(停車場線)での街並み形成プロジェクトの実施

- 行政や地元商工会、民間事業者などを交えた『都心戦略会議』を立ち上げ、世界を代表する企業のグレードに相応しい魅力的でにぎわいのあるまちづくりのための戦略をトータルに協議し、実践する。民/事/行
- 行政と市民が協力して、建物のファサードに関するガイドラインを策定し、まとまりのある単位でデザインの協調を図るなど、新しい未来の街並みに相応しい景観を誘導する。民/事/行
- 歩行者空間に緑量のある高木を列植するなど、緑豊かで美しく風格のある通りの景観形成を誘導する。民/事/行
- 公民の境界領域は計画段階からデザインを調整し、公共的な空間としての一体性を演出するとともに、地域のマネジメント組織によって、一体的にその空間の活用、維持管理、魅力向上の取り組みを行う。民/事/行
- 建物低層部に賑わいを生み出す店舗・飲食店、ギャラリー等文化的な施設、地域や学生の交流の場となる施設を誘導し、デザイン性に優れ、歩いて楽しい沿道空間の形成を誘導する。民/事/行
- 車をイメージできる情報発信施設などを中央公園及び駅前に誘致し、それぞれ中央公園と駅前の顔としてアピールする。事/行



豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

4. 新たな交通文化を創造する交通モデル都市

全ての手段で便利かつスムーズに都心にアクセスし、移動できる環境を整備する。

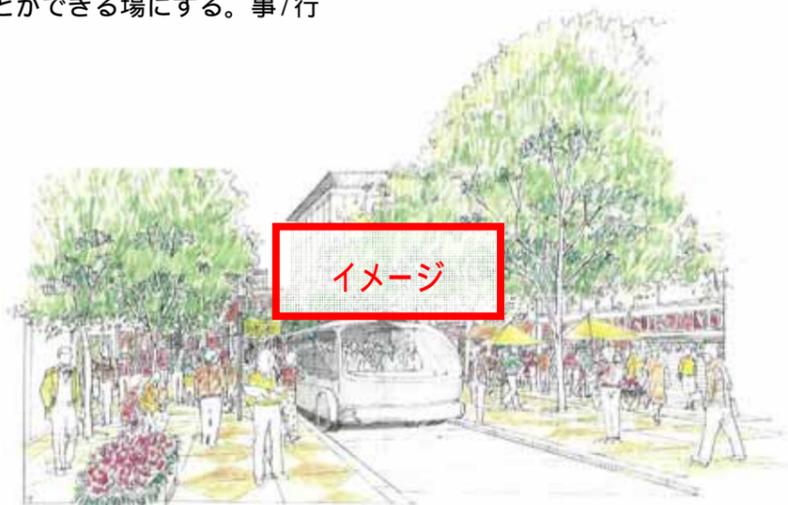
アクションプラン

快適で移動しやすいバス・鉄道サービスの実現

- 名鉄三河線複線高架化や基幹バスネットワークの強化など、公共交通サービスの向上を図る。事/行
- 利用者がリアルタイムで交通情報を把握することにより公共交通の乗り継ぎを効率化し、現在地からもっとも効率的に目的地に辿り着けるルート検索を可能にする。事/行
- 共通ICカードを普及させ、パーク&ライドやカーシェアリングなどにより自動車交通量軽減を図るとともに、各種公共交通への乗り継ぎも自由にできる料金も含めた制度の導入を図る。事/行
- バス停などの待ち空間にベンチ、屋根など設置するとともに、駐輪場・駐車場との接続性を高め、快適な乗り換えを実現する。事/行

停車場線のトランジットモール化と、その周辺地区の歩車共存エリア化の実現

- 外環状道路などの広域道路ネットワークを整備し、駅前広場の拡充を行ったうえで、新しい公共交通システムを導入し、停車場線のトランジットモール化を実現させる。事/行
- 外環状道路などを整備し、その周辺街区には都心部に用いない自動車が流入しないよう規制を行い、歩車共存エリアを設定する。事/行
- 歩車共存エリアでは、自動車の速度規制や一方通行規制などを行い、安全性に配慮した交通静穏化空間を形成する。行
- 世界を代表する企業があるまちとして相応しい姿になるよう、地元事業者とともに、先進的な技術を導入した近未来モデル都市を創造する。事/行
- トランジットモールを含む歩車共存エリアを、最先端の交通手段(例: パーソナルモビリティなど)を楽しむことができる場にする。事/行



トランジットモール イメージパース

(出典：豊田市中心市街地におけるランドデザインの提言 (H17/10：豊田商工会議所))

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

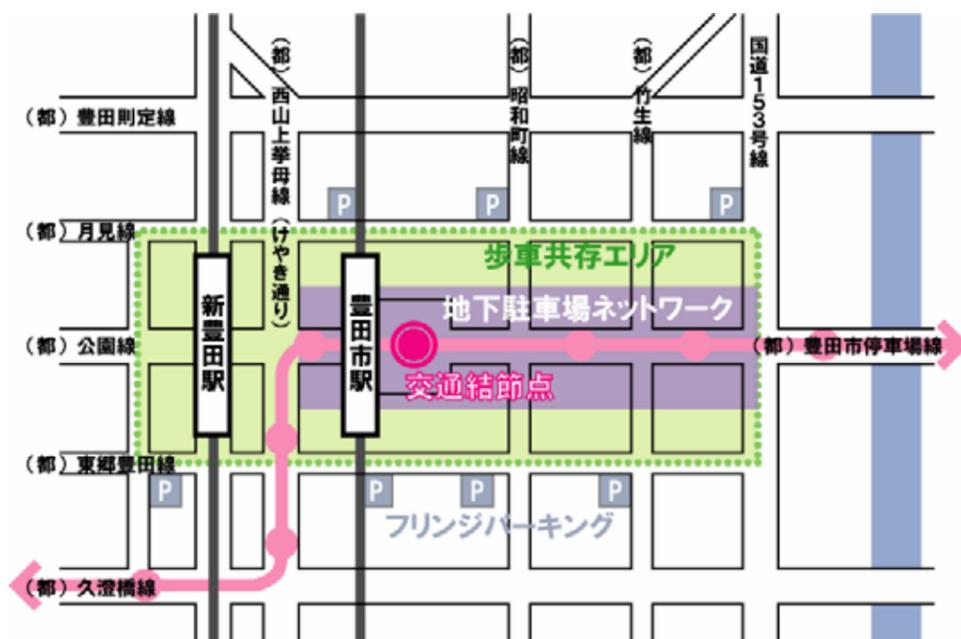
4. 新たな交通文化を創造する交通モデル都市

安全に楽しく都心を回遊できる環境を整備する。

アクションプラン

大規模地下駐車場ネットワークの形成

- トランジットモールを取り囲む歩車共存エリアの外側(フリンジ)にある駐車場を活用し、歩車共存エリアに近づきやすい環境を整える。事/行
- 歩車共存エリアについては、平面駐車場や立体駐車場を廃止する一方で、再開発事業などの進行に合わせて、停車場線沿いを中心とした大規模な地下駐車場ネットワークを形成する。事/行
- 地上/地下駐車場の出入口を集約し、わかりやすい経路案内を可能にする。事/行
- 駐車場の選択、料金、稼働率などをリアルタイムでコントロールすることにより、都心の駐車場総面積を減少させ、その減少分を別の用途に用いるよう誘導する。事/行
- 歩車共存エリアの駐車場運営は、商業施設への来訪者の利便を第一に考え、来訪者の駐車は商業施設地下駐車場へのダイレクトパーキングとし、従業員などの駐車は、同エリア外のフリンジパーキングに誘導する。事/行



都心交通ネットワーク

豊田都心ビジョン 都心が目指すべき9の目標(案)

4. 新たな交通文化を創造する交通モデル都市

世界一安全で移動することを楽しめる都心交通環境を整備する。

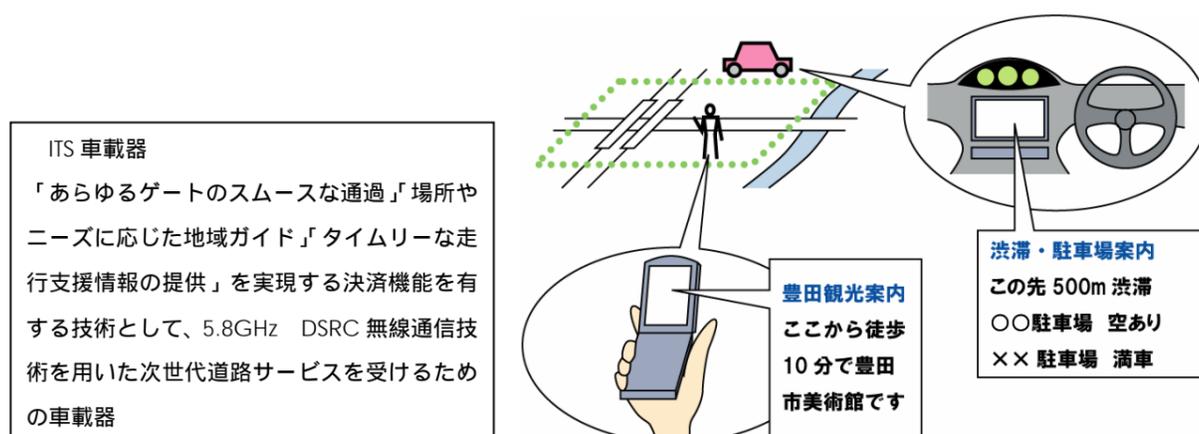
アクションプラン

安全運転支援システムの導入

- 安全運転支援システムを国が進める大規模な実証実験と連携し、モデル的な導入を図り、歩行者にも自動車にも安全な都市内移動を実現する。行

快適で楽しい移動を支える ITS(高度交通道路情報システム)・地域交通システムの導入

- 都心駐車場や幹線道路から細街路まで含めた道路渋滞情報等の道路交通情報を、移動シーンに応じてリアルタイムに提供することで円滑に都心まで来られるようにする。行
- 渋滞、安全、公共交通、駐車場、地域情報などが入手でき、決済機能を有する次世代型の車載器(ITS車載器)を導入し、パークアンドライド駐車場と公共交通やカーシェアリングなどの様々な移動システムを連携させ、スムーズな移動ができる交通環境を整備する。事/行
- ITS車載器の導入とともに地域ICカードを導入し、各種の情報や料金決済が連携できる仕組みを構築する。これにより、商店街やエコポイントなどとの連携も図る。民/事/行
- 自動車交通だけでなく、携帯電話などのモバイル端末を利用し、歩行者、自転車、ショッピングカート利用者などに情報提供するほか、豊田市を訪れる観光客に対しても、コンシェルジェなど充実したコンテンツ提供も行えるようにする。民/事/行
- 都心イベント時には、高速道路などを活用したパーク&バスライドシステムを導入し、都心までの移動を快適に行えるようにする。事/行



情報ネットワーク イメージ